

令和5年度事業計画書

1 会務関係

事 項	事 業 の 内 容	開催時期
各 種 会 議 等	総 会 1回 理 事 会 3回 監 査 1回 全国会議（各種） 九州ブロック連絡会議 2回（大分県、沖縄県） 県等との連絡会 職員等研修会出席	5月 5月、10月、3月 4月 6月、11月、3月 9月、2月 随時 随時

2 業務関係

事 項	業 務 の 内 容	開催時期
(I) 総務企画  会 員 の 開 拓  広 報	新規会員の加入促進  (1) メルマガによる会員向けの情報提供 (2) ホームページによる最新の協会行事等の広報 (3) 技能検定試験等を市町村、各組合及び団体等の広報紙に登載を依頼。	
(II) 技能検定  試験の実施	(1) 定期試験 ①検定の実施計画は、別紙①、②、③のとおり ②受検者見込数 <u>実技 2,245人</u> (令和4年度実績 2,180人) <u>学科 2,040人</u> (令和4年度実績 1,966人)  (2) 随時試験 ①外国人技能実習制度に伴う基礎級（1年目）及び 随時3級（3年目）、随時2級（5年目）技能検 定を実施	(前期) 6月～9月 (後期) 12月～2月         随時 (4月～3月)

	<p>②受検者見込数(全級) <u>1,400人</u> (令和4年度実績 1,481人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎級 <u>800人</u> (令和4年度実績 678人)</li> <li>・随時3級 <u>400人</u> (令和4年度実績 618人)</li> <li>・随時2級 <u>200人</u> (令和4年度実績 185人)</li> </ul>	
実技試験水準調整 会議の開催	厳正、かつ円滑な実技試験実施に向けての検定委員会議 の開催	6月、12月
広報の実施	<p>(1) 技能検定の受検促進のため、受検案内書、ポスター の作成配布 配布先：県内事業所、市町村、職業安定所、 専門高校 等</p> <p>(2) 新聞掲載等による広報活動</p>	<p>3月(前期) 9月(後期)</p> <p>3月(前期) 9月(後期)</p>
技能検定委員の 委嘱	令和5年度技能検定委員の委嘱 (6月 約190人) (11月 約160人)	前期、後期
表 彰	表彰規定に基づく永年勤続の検定委員に対する協会長 の表彰	6月、12月
フォローアップ 講習	技能検定合格者に対するフォローアップ講習の実施 (3職種を予定)	随時
(Ⅲ) 開発振興		
認定職業能力開発 校に対する指導援助 の実施	認定職業能力開発校の普及推進を図るため、協会ホーム ページに入校案内を掲載	6月
認定職業能力開発 校の研修の実施	九州ブロック認定職業能力開発校長会議の開催(宮崎市) ※熊本県認定職業能力開発校運営会長・校長合同会議及 び指導員・事務職員研修会を兼ねて開催	10月
職業能力開発促進 に関する行事	<p>(1) 熊本県職業能力開発促進大会(表彰式)の開催</p> <p>(2) 熊本県職業能力開発推進者経験交流プラザの開催</p>	<p>11月</p> <p>5月～3月 年1回開催</p>

職業訓練実施助成	熊本県建設業協会との連携による建設関係訓練校への助成	
職業訓練指導員講習会等の実施	<p>(1) 職業訓練指導員講習（48時間講習）の実施 1級技能士等を対象に、職業訓練指導に関する指導・訓練方法等の専門知識の習得を目的として実施する。</p> <p>(2) 監督者訓練(TWI)等の研修事業の実施</p>	<p>7月 年1回開催 (6日間)</p> <p>随時 (5月～3月)</p>
各種表彰の実施	優秀訓練生等に対する協会長表彰（促進大会時）	11月
技能五輪全国大会関係	<p>(1) 第61回技能五輪全国大会（愛知県 他）への選手団の派遣、参加選手確保のための関係団体等への働きかけ</p> <p>(2) 技能五輪全国大会熊本県選手団結団式の開催（県）</p> <p>(3) 技能五輪全国大会派遣選手選抜のため、熊本県地方予選会を技能検定の前期、後期日程にあわせて実施</p>	<p>11月17日～ 11月19日</p> <p>10月</p> <p>6月～8月 1月、2月</p>
技 能 祭	熊本県技能士会連合会による県内各地での技能フェアへの参画及び支援	年間

<p>(IV) 他の試験</p> <p>コンピュータサー ビス技能評価試験</p>	<p>中央職業能力開発協会との共同によるコンピュータサ ービス技能評価試験の実施</p> <p>各部門ごとに、1 級、2 級、3 級について、認定校試験 と一般募集試験で実施する。</p> <p>受験者見込数 2, 5 0 0 人 (認定 2, 4 5 0 人、一般 5 0 人) (令和 4 年度実績 2, 5 8 2 人)</p> <p>○ A 機器操作分野</p> <p>①ワープロ部門</p> <p>②表計算部門</p> <p>③情報セキュリティ部門</p>	<p>5 月～3 月</p>
<p>ビジネス・キャリ ア検定試験</p>	<p>中央職業能力開発協会が主催するビジネス・キャリア検 定試験の普及拡大及び試験の実施</p> <p>事務系職務の 8 分野 4 1 試験区分について、1 級～3 級 及び BASIC 級 (基礎的知識) のレベルに体系化された試験 単位で実施する。</p> <p>・ 受検者見込数 2 4 0 人 (令和 4 年度実績 2 1 8 人)</p> <p>1 級 5 人 (令和 4 年度実績 2 人)</p> <p>2 級 7 0 人 (令和 4 年度実績 5 8 人)</p> <p>3 級 1 6 0 人 (令和 4 年度実績 1 5 5 人)</p> <p>BASIC 級 5 人 (令和 4 年度実績 3 人)</p> <p>・ 各団体の広報媒体の活用、個別企業への訪問</p>	<p>10 月 (前期)</p> <p>2 月 (後期)</p>

<p>(V) 委託事業 若年技能者人材育成支援等事業 (厚生労働省)</p>	<p>○令和5年度事業内容からの主な変更点 ・ものづくりマイスター（熟練技能者）の派遣指導において、2年連続して指導を受ける派遣対象企業等から実施経費を徴収する。ただし、工業高校等学校は対象外となる。 (令和4年度後期仕様) ・小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信事業の復活。</p> <p>地域における技能振興事業 (1) 技能五輪全国大会予選会の実施等 (2) 技能五輪全国大会・若年者ものづくり競技大会への参加支援 (3) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援</p> <p>ものづくりマイスターの認定・登録 (1) ものづくりマイスターの開拓 (2) ものづくりマイスターに対する指導技法等講習の実施</p> <p>ものづくりマイスター等の活用に係る業務 (1) ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施 目標延べ 3,950人日 ※国の活動目標数 2,300人日 (令和4年度実績 2,297人日) (2) 熟練技能者の派遣による実技指導の実施 目標延べ 400人日 (令和4年度実績 196人日) (3) 「ものづくりの魅力」発信（体験教室） 目標延べ 350人日 (令和4年度 休止)</p> <p>地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営 連携会議の実施 年2回開催予定 (令和4年度実績 2回実施)</p> <p>全国斉一的な事業展開 全国会議、ブロック会議の実施 年2回開催予定 (令和4年度実績 2回実施)</p>	<p>5月 4月～11月 7月～12月 4月～R6.2月 4月～R6.2月 5月、12月 5月、11月</p>
--	--	---